

自閉症・知的障害児者スキルアップメソッド

RPM 講演会のご案内！

(ラピッド・プロンプティング・メソッド)

[日 時] ▶▶ 2019年6月1日(土) 10:00~12:30

[会 場] ▶▶ 高槻現代劇場 305号室
(大阪府高槻市野見町 2-33 TEL072-671-1061)

[講 師] ▶▶ 鈴木麻子氏

[参加費] ▶▶ 1,000円

(当日お支払いください)

[定 員] ▶▶ 200名

RPMの講演会は、日本で数回
目です！どんなメソッドなの
か楽しみです。
ぜひご参加ください♡



RPM(ラピッド・プロンプティング・メソッド)とは、決められたやり方通りに順を追って少しずつ、子どものスキルを向上させ知識を増やしていくメソッドです。その過程で徐々に文字盤やキーボードを使い自分の意志を伝えることができるようになった自閉症の人はたくさんいます。

今回、RPMの解説書「RPMで自閉症を理解する」(裏面参照)の翻訳者の1人、鈴木麻子氏をアメリカからお招きしRPMのレクチャーをしていただきます。

RPMを学び、自閉症や知的に障害のある人達の可能性を一緒に考えてみませんか！

みなさんのご参加をお待ちしています。

参加希望の方は、名前を記載の上FAXまたはメールにてお申し込みください。

なお、申し込み多数の場合は抽選になりますのでご了承ください。(参加できない場合のみ連絡致します。) また、当日の講演会の**撮影や録音は固くお断りいたします。**

鈴木麻子氏 プロフィール

神奈川県生まれ。カンザス大学にて音楽療法士修士号を取得後、アメリカで主に自閉症の子供や大人を対象に音楽療法士の仕事に約20年間携わってきた。知的障害を伴う自閉症の診断を受けた娘は、基本的な発語があっても会話にならず、自閉症児向けのクラスでは10歳になっても幼稚園または小学一年生程度の教育を受けていた。その頃ソマ・ムコパディエイの書いた教則本を参考にしながらラピッド・プロンプティング法(RPM)で教え始めたところ、娘が文字盤を使って適切な返答ができることがわかった。さらに、発語にならない言葉も文字盤を指差すことで表現できること、口から出てくる言葉は必ずしも意図的なものではないこと、いわゆる問題行動の多くは、意思が伝わらないためのフラストレーションが原因だったことなどがわかった。2015年にソマの元でRPM指導者としての訓練を受け、現在はアメリカで生徒の指導もしている他、日本でRPMについての情報を広めるための活動をしている。



*連絡先 RPMを勉強する会 担当者:三上

Email: mitan0504@yahoo.co.jp

TEL:090-9252-1866 FAX:0723-55-3376